

出席者	住民	32人	市 大城市長・松良総務企画部長 政策推進課 長川補佐・野本主査
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	※事前質疑 樹木の伐採について	大平ちびっ子広場近くの避難経路に大きな樹木があり、災害時に避難をする際に転倒するため伐採してほしい。なお、自主防災会での費用負担は困難である。	避難路となっている里道の脇にて、通行の支障となる樹木3本と、坂道への落ち葉の堆積を確認した。当該樹木は民地からの生い茂りと見受けられたため、本来であれば土地所有者において伐採等を行っていただくべきところだが、所有者側での対応が難しい状況であった。そのため改めて所有者に相談したところ、伐採の承諾を得ることができた。これを受け、今後建設課にて伐採を実施する予定である。なお、落ち葉の清掃などの維持管理については、引き続き地元での対応をお願いする。
防災危機管理課	※事前質疑 道の駅での防災フェスタ開催について	市内の防災士、自主防災会でブースを担当してもらい、防災フェスタを開催することにより横の連携を図りやすくなる。	市内の防災士や地区自主防災会などの横の連携は、地域防災力を高めるうえで大変重要であると考えている。 自主防災組織は、それぞれの地域住民による「自主的な組織」であるため、まずは各地区において主体的な交流や情報共有を深めていただくことが基本となる。 今後は、他地区の地区自主防災会の役員も参加される「八幡浜市自主防災会連絡協議会の総会」などの場を通じて、地域間での具体的な連携やノウハウの共有について議論を深めていただけるよう、市としても働きかけやサポートを行っていく。 また、各組織が中心となり、複数の地区が合同で防災フェスタなどのイベントを企画・開催される場合には、地域防災力の強化を支援する観点から、市としても共催や後援、あるいは企画段階からの協力など、できる限りの支援をさせていただきたいと考えている。
政策推進課	※事前質疑 アゴラマルシェへのATM設置について	アゴラマルシェにATMを設置してほしい。	アゴラマルシェについては民間事業者が運営しており、ATMの設置については金融機関等が判断されることであるので、施設内に市が直接ATMを設置することはできない。 しかしながら、利用者の利便性向上という観点において、設置を要望される声があることを、事業者や金融機関等へお伝えさせていただく。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
政策推進課	※事前質疑 人口減少や高齢化による課題について	人口減少や高齢化による課題について ①税収と支出のバランス(市の財政) ②ミカンと魚の町「八幡浜市」の対策 ③10年後には八幡浜市の人口は23,000人の予想だが対策のプランは？ ④各自治体の活動や公民館活動も人手不足な現状である。10年以内に活動できない地域もあるが、八幡浜市役所の対策のプランは？	①税収と支出のバランス(市の財政) 本市の財政は、人口減少や基幹産業の従事者減少等による市税の減少をはじめとした自主財源の減少により厳しい状況である。 支出面では物価高騰や人件費の増加、公共施設老朽化に伴う改修費用等の増加も見込まれる。 こうした「限られた税収」と「膨らむ支出」のバランスを保つため、投資的事業の抑制や既存事業の見直し、DX推進による業務効率化、遊休資産の売却などを進め、効率的な予算執行と財源確保に努める。 ②ミカンと魚の町「八幡浜市」の対策 当市の基幹産業である農業と漁業については、以下の取組を通じて、基盤整備と経営安定、担い手の確保と育成に努めている。 ◎農業 ○基盤の整備 農道や水利施設の整備、設備の近代化支援により省力化を図り、農家減少に歯止めをかける。 ○担い手の確保・育成 独自の就農・サポート支援、ワンストップ窓口による農地斡旋や相談対応のほか、法人化支援や経営指導を通じて基盤強化を推進する。 ◎漁業 ○基盤の整備・経営安定化支援 燃油・飼料高騰対策、漁業用具整備、利子補給、市場手数料補助などを通じ、漁業経営の継続と基盤強化を支援する。 ○担い手の確保・育成 新規就業者の確保・定着支援や、雇用促進のための各種補助金事業を実施し、人手不足の解消と技術継承を図る。 ③10年後には八幡浜市の人口は23,000人の予想だが対策のプランは？ 人口減少の急激な改善は困難だが、将来も豊かな生活を送れるよう、「はまっこわくわくライフ応援パッケージ」の44事業を中心に少子化・人口減少対策を推進している。あわせて、関係人口・交流人口の拡大を図り、地域の活力を維持する。 ④各自治体の活動や公民館活動も人手不足な現状である。10年以内に活動できない地域もあるが、八幡浜市役所の対策のプランは？ 地域活動の拠点となる公民館活動については、ひとつの方法として、それぞれの地域が単独でこれまでどおりの活動を継続するだけでなく、川之内公民館と千丈地区公民館の取組みのように、隣接する地域が連携し、合同で活動を行うことも考えられる。 また、将来的には、地区公民館、自治公民館及び集会所の再編についても検討が必要となる時が来るものと考えている。 現時点で具体的な検討には至っていないが、将来的に再編を進める場合には、住民の意向や地域の実情を十分に尊重して対応していく。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	※事前質疑 東南海地震 (南海トラフ巨大地震)発生時の対応について	東南海地震が発生した時に空き家等が倒壊して避難場所に避難できない事案のプランは？	南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生した際には、まずは「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、身の安全を最優先に行動してほしい。そのため、避難の際は空き家だけでなくブロック塀などの倒壊も考えられるので、津波ハザードマップ等を参考にしながら、倒壊の危険がありそうな建物を極力回避できる複数の避難経路や避難場所を、事前に検討していただきたいと思う。 また、災害発生時には、できる限り早い段階で、市災害対策本部と市内各地区の自主防災会等が連携し、道路や家屋などの被害状況、河川等の地理的条件を総合的に判断したうえで、開設可能な指定避難所を順次開設していく方針である。 なお、周囲に倒壊しそうな危険な空き家があれば、建設課空き家対策係までご相談いただきたい。
政策推進課	※事前質疑 市長をかこむ会における時間外手当の支給について	市長をかこむ会は公務だろうか。夜の時間外労働であるから、市職員と公民館職員に公費から時間外手当を出しているか。	「市長をかこむ会」については、市長のまちづくりの方針等をご報告・ご説明するとともに、広く市民の皆様の率直なご意見やご要望をお伺いし、市政運営に反映させる重要な場であるため、「公務」として位置付けて実施している。 時間外手当については、夜間や休日などの勤務時間外に、所属長からの命令に基づいて業務に従事した職員(管理職を除く)に対して支給している。そのため、夜間や休日に開催する「市長をかこむ会」についても、運営に従事した市職員および公民館職員に対し、適正に時間外手当を支給している。
商工観光課	※事前質疑 四電跡地へのホテル誘致に関する情報発信について	四電跡地にホテルが建つそうだが、跡地の販売価格が安い・おかしいと市民から聞いた。いくらで売ったのか、広報に出してほしい。	四国電力跡地プロジェクトのホテル誘致について、その敷地は民間所有地と市有地で構成されている。 ホテルの建物が建設される民間所有地については、既にホテル事業者が取得しているものと承知しているが、民間同士の取引であることから、売買価格の適否については、市としてコメントする立場にない。 一方、ホテルの駐車場として予定されている土地については市有地であり、今後、ホテル事業者へ売却することとしている。売却に当たっては、事前に不動産鑑定を実施し、適正な価格で売却していく。
政策推進課	※事前質疑 市からのラインの通知について	毎日のように、市から様々な情報が送られてくる。(多い時は、1日に何度も)はっきり言って多すぎる。こちらとしても、自分にとって知りたい情報は欲しいのだが、不用品情報も多い。通知オフにすると、大切な情報も見逃がしてしまう。そこで、通知の時間を決めるとか、一度に、何通分をまとめて発信するとか、(防災関係)(文化振興関係)(道路交通)など、課ごとに(カテゴリー別)まとめて送信するなど、工夫をしてほしい。もちろん、「はまそく」だろうか、レアな情報をいち早く流したいのだろうが。なにか良い方法はないだろうか。同じように思われている人もいると思う。	現在、市公式LINEでは、原則として定時配信(12:30と18:30の2回、各1件ずつ)を行いつつ、災害情報や道路交通規制、各種スポーツ大会の成績などの緊急性や周知性を要する情報については、「はまそく!(やわはまニュース速報)」として随時配信している。また、お盆期間中(8月10日から15日までの期間)は、市民の皆様や市外からの来訪者に向けたイベント・駐車場情報等が集中したため、通常よりも配信が多くなっていた。 しかしながら、「必要な情報は受け取りたいが、不用品な通知は減らしたい」「防災や道路交通、イベントなど、関心のあるカテゴリー(分野)ごとに選んで受け取りたい」という意見は、まさに今後取り組むべき重要な課題であると認識している。 いただいた意見を参考に、市民の皆様にとってより利便性が高く、情報の埋もれない配信方法(カテゴリー別の受信設定機能など)について、技術面やコスト面を含めたシステム全体の運用見直しに向けた検討を進めていく。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
商工観光課	イベント時の交通規制・逆走対策について	花火大会の開催時に、大平から幸町の区間において車両の逆走が発生している。警察へ相談したところ、「市の行事であるため巡回は可能だが、常時警備はできない」との回答であった。来年度は市として交通誘導員を配置するなど、安全対策(車両誘導等)を講じてほしい。	徹底がうまくいっていなかった。イベント時は市役所も注意し、警察とも連携して対応する。 【補足】 毎年、花火大会の開催にあたり、事前に「交通実務者打ち合わせ会」を開催し、警察署をはじめとする関係団体が一堂に会して交通規制や迂回路に関する情報共有、および危険箇所についての協議を実施。警察のご協力を得ながら、人員配置の計画を策定している。ご要望いただいた交通誘導員の配置についても、逆走が実際に昨年あったとのことで、今年的人员配置を増やす対応を行った。今回いただいた意見も含め、合同意見交換会で事実確認を行い、来年度に向けて、交通誘導員の増員や配置の見直しなど、より一層の安全対策に努めたい。
防災危機管理課	津波避難と高齢者等の避難計画について	実際の災害時は、高齢者や足腰の弱い住民が多く、車での避難が増加することが予想される。渋滞や津波への巻き込みを防ぐための交通規制や、要支援者の円滑な避難について、どのような防災計画を策定しているのか。また、警察等とは協議を行っているのか。	愛宕山プロジェクトの道路整備を見据え、警察や自主防災会を交えて、要支援者の避難方法について防災計画の中で検討していきたい。車でどのように避難するのか、それに伴う交通規制をどうするのかは、重要な課題であると認識しているため、時間をいただきたい。
建設課	市道(緑ヶ丘住宅まで)の拡幅完了について	大平から市営緑ヶ丘住宅までの道路拡幅完了に対しお礼申し上げる。愛宕山プロジェクトに繋がる避難路として、有効に活用してもらえと思う。今後さらに津羽井地区までの間の道路について、車両離合場所の整備をお願いしたい。	工事が完了し、住民の利便性が向上したことを嬉しく思う。今後進めていく愛宕山プロジェクトについては、地権者が100人を超え、用地取得に多大な時間と労力を要することが予想される。もし知人等に関係者がいる場合は、積極的な協力を呼びかけてほしい。
防災危機管理課	愛宕山プロジェクトの早期実現について	愛宕山プロジェクトの避難道・駐車場の早期実現をお願いする。	今後進めていく愛宕山プロジェクトについては、地権者が100人を超え、用地取得に多大な時間と労力を要することが予想される。もし知人等に関係者がいる場合は、積極的な協力を呼びかけてほしい。
学校教育課	学校と地域の連携(子どもの作品への対応)について	子どもたちが夏休みに作ったペットボトルキャップのアート作品を学校に寄贈した際、学校側の反応が冷たく感じられたため、地域と学校が一体となって子どもを育てる意識を持つよう、市からも学校へ伝えてほしい。	地域の取り組みは素晴らしいと思う。今後はイベント時の作品の大きさや渡し方を工夫し、学校側とも連携して喜ばれる形を考えてみてほしい。キッズゲルニカのような折り畳み可能な物にすると、受け取る側も嬉しいのではないかな。
水産港湾課	みなと立体駐車場の津波避難機能の充実について	屋上に雨風をしのげる場所(テントや備蓄倉庫など)を設けてほしい。 屋上を平らにするなどしてヘリがホバリング(救助)できるようにしてほしい。	当初は命を助けるための一時避難として想定していたが、いただいた意見を持ち帰り、担当部署で実現可能かしっかりと議論・検討する。 【補足】 立体駐車場は本来の駐車機能を主目的として整備されるものであり、その一部を津波避難場所として活用することとする。 そのため、屋上へテントのような屋根の常設は、対応することはできない。 なお、今後の実施設計を行う上で建物の階高が決まるため、それを踏まえ、津波浸水深と比較・検証しながら、屋根のある3階部分を風雨をしのげる避難スペースとして活用できないか、備蓄品置場とあわせて検討する。 屋上部の構造は変えることはできないが、実施設計を行ううえで、ホバリング可能か検証する。